

# スクールホットライン

## 笑顔輝く学校づくりを目指して from 豊山小学校

豊山小学校では、地域に根ざした行事を多数開催しています。一学期には、三年生を対象に、豊山の伝統文化について、保存会やまちおこしの会の方々と講師としてお招きし、体験学習を実施しました。また、六月と十月には、高学年を対象に、空港の町としての特色を生かし、FDAやMRJに関わるキャリア教育を実施しました。今回は、それらの行事を紹介いたします。

### 【神楽を学ぶ会】

豊山の伝統芸能について学ぶため、神楽保存会より八名の講師をお迎えし、神楽を学ぶ会を行いました。迫力ある六つの曲目が披露され、そこで奏でられるリズムカルな太鼓や笛の音に子どもたちは聴き入っていました。また、保存会の方々の丁寧でわかりやすい説明を聞きながら、実際に太鼓をたたいたり、笛を吹いたりしました。

### 【どじょう寿司を味わう会】

郷土料理を学ぶ授業の一環で、どじょう寿司を作りました。子どもたちは、豊山まちおこしの会のメンバー九名の指導のもと、生きたどじょうを鍋に入れ、甘辛醤油で煮込んだ後、一匹ずつ酢飯の上に並べるまでの調理を、一人ずつ順番に行いました。給食時には、まちおこしの会の皆さんが前日に仕込んだ寿司を給食とともに味わいました。

### 【FDA11号機の機体見学会】

豊宮名古屋空港に出かけ、格納庫に収納されたFDA11号機の見学をしました。実機の外観や内部を含めた機体概要の説明や、製造地から豊宮名古屋空港までの回航に係る一連の仕事について学びました。特に、コックピットに入って操縦席に座り、操縦桿を握る体験をしながら、パイロットの仕事についての説明を聞くこともできました。



### 【MRJ航空教室】

三菱航空機株式会社より講師の方に来校いただき、将来に向けての勤労観や職業観を養う学習をしました。対話形式で「MRJの生産や整備プロジェクトの説明」「豊山町との関わりや今後の展望と夢」「子どもたちへの期待」についての講義でした。子どもたちからは、多くの質問があり、盛り上がりのある質疑応答の時間となりました。

これらの行事を通して、子どもたちは多くのことを学ぶことができました。地域の一員として、郷土の伝統文化を学び、未来へのあふれる希望をもつことのできる経験は、将来を担う子ども一人一人にとって、とても貴重なものです。今後地域の皆様のご協力をいただきながら、笑顔輝く学校作りを目指していきます。



## 史料から 豊山 ひもとく

### 第11回

今回は、民宣資料から「綿入れ衣料」、文書資料から「人生行路の図」をご紹介します。

#### ▽綿入れ衣料

和服についての簡単な勉強から。羽織…長着の上に着る折り衿、小袖で丈の短い外衣。胸着…この辺りでは舟底袖など小さな袖の物を防寒用の上着として着用。「どんぎ」ともいわれる。

半てん…まち（ゆとりを持たせるために付け加えた部分）や前下がり（着たとき、袖が水平になるように加えた工夫部分）がなく、衿を折り返さずに着る羽織に似た筒袖の衣服。でんちゆう…いわば、胸着や半纏の袖のない形で、活動的である。

以上区分があるが、あまり厳密には区別されていなかったようです。〈参考〉岩井広實・監修『絵引民具事典』、文化出版局編『最新きもの用語辞典』書窓平成二十四年三月号より



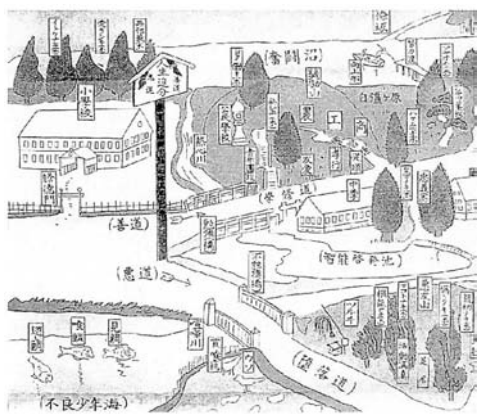
羽織

胸着

#### ▽人生行路の図

昭和五年発行、著者は豊山公民学校・伊藤盛市先生で、校医安藤兼一先生が発行費用を負担された貴重な純粋の郷土資料です。

内容は小学校を出発・分岐点として、平安道、破滅道に至る道徳的な人の生き方を、図化して説いてあります。漢字が多く使用されていたり、「よく見へる所に貼って」毎日の自省を促してあるなど、子供から家庭を対象にしたものと思われれます。



なお伊藤（号・俳情子）氏作成資料には他に、昭和六年、豊山尋常高等小学校発行の『我が郷土 自然編』『我が郷土 尾張國豊山村』（図書室にも所蔵）や『出征者名簿 明治 大正 昭和』の三点も本室にあります。『書窓 平成二十四年八月号』より改